

補助事業番号 2025M-178
補助事業名 2025年度 福祉機器の整備 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人丹後福祉会

1 補助事業の概要

本事業は、公益財団法人 JKA の 2025 年度福祉機器の整備補助事業を活用し、介護施設における見守り業務の負担軽減および利用者の安全確保を目的として、見守り支援機器「眠り SCAN」の導入を行ったものである。

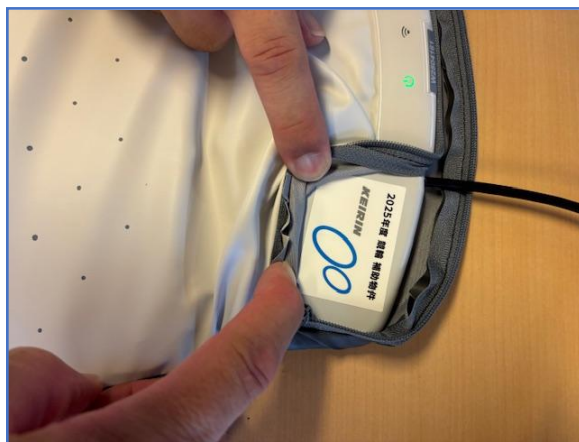
当施設では、利用者の睡眠状態をリアルタイムで把握できる「眠り SCAN」を 30 台導入し、夜間の職員による巡視業務の効率化を図った。これにより、利用者の状態変化（呼吸停止や離床など）を即座に把握し、迅速な対応が可能となったことで、事故防止と介護の質の向上が実現した。

また、本機器の導入により、職員の身体的・精神的負担が軽減され、夜勤業務の安全性および働きやすさの改善にも寄与している。

2 本事業により導入した機器

① 眠りSCAN NN-1530 30台 <https://tangoen.net/blog/895/>

眠りSCANとは、マットレスの下に敷いたセンサーシートで、身体に触れずに呼吸数・心拍数・寝返り・覚醒・離床などの体動データを測定し、睡眠状態をリアルタイムで把握する介護向け見守り支援システムです。



設置場所：【特別養護老人ホーム第二丹後園】

②本事業に係る印刷物等

丹後園だより 令和7年10月号（予定）

3 予想される事業実施効果

本事業により導入した「眠り SCAN」は、介護施設における夜間の見守り業務の負担軽減と、利用者の安全確保に大きな効果を発揮することが期待される。

まず、介護職員にとっては、利用者の睡眠状態や呼吸・心拍などをリアルタイムで把握できるようになったことで、これまで定時で行っていた巡視の回数を削減できるようになる。これにより、身体的負担の軽減だけでなく、精神的な安心感の向上にもつながる。

また、異常があった場合のみ対応する体制が整うことで、夜勤業務の効率化が図られ、限られた人員でも質の高いケアの提供が可能となる。

利用者にとっても、必要以上の巡視による睡眠の妨げがなくなることで、安眠環境が確保され、生活の質（QOL）の向上が期待できる。さらに、転倒や離床などの異常を即時に把握できるため、事故や体調悪化を未然に防ぐことができ、より安全・安心な生活環境が実現される。

また、施設運営の観点からも、本機器の導入は人手不足の中でも効率的なケア体制の構築に寄与し、職員の離職防止や採用面での魅力向上にも効果があると考えられる。さらに、ICT 機器を活用したケアの推進は、今後の介護 DX（デジタルトランスフォーメーション）の基盤づくりにもつながる。

これらの効果を通じて、職員・利用者双方にとってより良い介護環境の実現が期待されるとともに、持続可能な施設運営への貢献が見込まれる。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人 丹後福祉会 （タンゴフクシカイ）

住所： 〒629-3241

京都府京丹後市網野町木津225番地の2

E-mail： tangoen003@nkansai.net

U R L： <https://tangoen.net/>